

六年ぶりに温泉街をパレード

伝統芸能『鶴踊り』

ぬえ

長岡・大仁中生が熱演

第43回 鶴ばらい祭



鶴たちが倒れた後登場した大鶴が、源頼政ら武将との立ち回りを演じるクライマックスシーン

が復活。十六時過ぎに弘法の湯長岡店から鶴踊りの中学生や芸妓衆が、湯らつくす公園に向けて出発しました。沿道の観光客や市民は、鶴に向かって豆まきの豆をぶつけ、一年の厄をはらいました。

一行が湯らつくす公園に到着すると、集まった見物客から歓声があがり、鶴や武将、農民に扮した中学生たちへたくさんのカメラが向けられました。実行委員長のあいさつなどに続いて、芸妓衆が見物

約八百年前、宮中に夜な夜な出沒し奇怪な声で鳴くもの…。頭は猿、胴体は虎、尾は蛇という妖怪「鶴」。古奈温泉で生まれた絶世の美女あやめ御前の夫源頼政がこの鶴を退治し、一躍英雄になりました。



厄払いの豆をぶつけられながら温泉街をパレードした鶴たち。大鶴(写真先頭)は2人がかりで歩いているため、大変そう

客に豆を配ると、大小の鶴が登場。見物客に豆をぶつけられながら、ユーモラスな踊りを見せた後、甲冑姿の頼政ら武将と激しい戦いを演じました。この鶴踊りは市内在住の日本舞踊家花柳衛樹さんが創作し、今年も中学生に直接二カ月間の稽古をつけました。伝統芸能を受け継いだ中学生に、大きな拍手が送られました。

ふるさと 故郷へかえれ愛しの我が四島よ

北方領土返還要求静岡県民大会

一月二十三日、葦山時代劇場で北方領土返還要求静岡県民大会が開かれました。

北方領土の早期返還に向けて県民の理解を深め、早期実現につなげることを目的として県内各市で開催されており、今回で二十六回目となりました。

大会は、開催地を代表して葦山地区区長会長の開会の言葉で幕を開け、主催者や来賓のあいさつに続いて、標語入選者などの表彰が行われました。標語の部の優秀賞には、静岡市の朝原米一さんの「故郷へ かえれ愛しの 我が四島よ」が選ばれました。

次に、交流訪問事業で北方領土を訪れた長岡中学校の橋本教諭が、写真やスライドを見せながら体験報告をしました。記念講演の講師を務めた沢村島出身の鈴木咲子さんは、まず、静岡県というと、日露通好条約が調印された下田市が思い浮かび、親しみを感じます。



メモをしながら真剣に聞き入る参加者

また早くから北方領土返還要求運動に力を入れていただき、感謝しています」と話し、よりいっそうの理解を求めました。また占領以来初めて訪島した際、荒れ放題のお墓を前にした体験を語り、「お墓参りに行きたいときに自由に行けないことが、本当につらい」と、言葉を詰まらせた。

最後に女性の会長から提案された、一日も早く北方領土返還が実現するよう努力するという大会宣言を採択し、閉会しました。

初笑いを堪能

新春伊豆の国寄席

一月二十日、アクシスかららぎ大ホールで、新春伊豆の国寄席を開催しました。

公演前には演芸評論家の花井伸夫さんが落語の楽しみ方について解説しました。「落語を見るのは初めて」という人や、「落語の楽しみ方が分からない」という人も、落語を楽しむコツが分かったところで、いよいよ本番です。

テレビ番組「笑点」でおなじみ三遊亭好楽さんと三遊亭玉楽さんによる親子落語や、SAKURAさんのマジックショー、昨年に続いて二回目の出演となるケーシー高峰さんの漫談などが行われました。約二時間の舞台に、会場内には新春の笑いがあふれていました。



三遊亭好楽さんの伝統的な落語